

## 指定管理評価表(総合老人福祉センター)

令和2年3月31日現在

施設概要	総合老人福祉センター(尼崎市東難波町4-9-25) 開館時間9:00~17:30(休館日:日・祝・年末年始) 施設設置目的:老人福祉センター特A型 事業内容:老人に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための機会等を総合的に供与する事業を行う。			
指定管理者の名称	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会			
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日			
業務概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記事業内容の実施に関すること。</li> <li>・センターの利用の許可、その取消しその他センターの利用に関すること。</li> <li>・センターの施設及び付属設備の維持管理に関すること。</li> </ul>			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	利用者数	41,065人	45,730人	47,322人
	自主事業数	47事業	44事業	46事業
	自主事業参加者数	26,075人	28,642人	29,727人
所管課・所管課長名	健康福祉局福祉部高齢介護課・西野 俊哉			
評価対象期間	平成31年4月1日~令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		<b>B</b>	利用者アンケートの結果をもとに、事業の検証と新たなニーズの把握に努めている。施設に対する利用者の要望を収集し、人気が高い健康増進事業を取り入れるなどの取組を行っており、利用者の満足度は高い。 また、「うたごえ広場」などの気軽に参加できるプログラムは人気が高く、利用者が増加している。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		<b>B</b>	施設の必要な修繕は速やかに実施し、保守、管理についても適正に行われている。 緊急時等におけるマニュアルは整備されており、個人情報の管理についても職員研修を適宜実施するなど対応されている。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		<b>B</b>	収支状況は概ね良好である。 また、予算の範囲内で、LED化を促進するなどの節減効果もみられる。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		<b>B</b>	昨年度に引き続き経営改善の途上にあるが、業務の遂行にあたっては適正に会計手続きがなされており、経営状況についても概ね良好である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		<b>B</b>	文書や備品管理等の事務手続きは、適正に行っている。 内部評価を実施し、各事業の点検を行っている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活相談に関する事業</li> <li>・健康相談に関する事業</li> <li>・教養学習に関する事業</li> <li>・健康増進に関する事業</li> <li>・栄養改善に関する事業</li> <li>・社会参加の推進等に関する事業</li> </ul>	高齢者の知識・教養の向上のために、高齢者が共に楽しみ・喜びが感じられるような講座を開講し、健康の維持・増進を目的に継続して行える運動習慣が身につくような体操を開催し、それらが仲間づくりにつながることも目指している。また、新規の利用者を増やすために、オープンスクールを開催して、気軽に参加できるよう事業紹介等も行っている。近年は、認知症予防や介護予防に重点を置き、昨年度から実施している誰でも気軽に参加し、歌うことができる「うたごえ広場」は人気があり、参加者も多い。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
<b>B</b>	利用者アンケートの結果をもとにして、利用者の多様なニーズに対応できるような事業を企画しており、利用者の満足度は高い。また、職員と利用者の顔の見える関係づくりも良好である。近年は、筋力アップなどの介護予防のための体操や認知症予防のための事業の人気が高い。また、認知症予防に音楽療法を取り組んだ講座は、昨年度から実施しているが、参加者に好評で、利用人数の制限を行うこともあり、総合老人福祉センターを代表する事業として定着しており、高齢者の社会参加の促進と福祉の向上に寄与している。 一方、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月11日より休館しており、再開にあたっては、利用者の安全確保や他の老人福祉センターとの連携等、高齢者の健康増進、生きがい・仲間づくりの促進に向け、事業の再構築が必要である。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。